

11月2日～

アオウミガメの姿を写真で知って 川湯エコミュージアムセンターの企画展

数々のアオウミガメの写真



川湯エコミュージアムセンターの2階ギャラリーで11月2日から、写真展「アオウミガメの旅立ち」が開催されています。

川湯自然保護官事務所のアクティブレングャー・恩田諒さんが、2年前にアオウミガメ保護団体のボランティアスタッフをしていた小笠原諸島の父島で撮影したものを。恩田さんは「日本の南にある国立公園の自然を知ってもらう機会になればうれしい。中でも、絶滅危惧種に指定されているアオウミガメの必死に生きている姿を伝えたい」と話しています。

12月28日まで行われていますので、ぜひ一度ご覧になってみませんか。

11月2日

登山シーズンの終わりを迎え パークボランティアらが藻琴山登山道のロープ撤去

足元の悪い中、丁寧に作業



川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)と一般財団法人自然公園財団川湯支部の皆さんが

11月2日、藻琴山登山道のロープ撤去作業を行いました。

ロープは、毎年6月の山開きの際に危険箇所の周知や植物の保護を目的として張られ、本格的な冬の到来を前にしたこの時期に外されます。この日は、1週間前に降った雪が残る中で作業となりましたが、手際よく進められ、約2時間で無事に終了しました。

10月20日

長年にわたり地方自治の発展に貢献 山口照男さんが旭日単光章を受章

勲記を受け取る山口さん(左)



元・町議会議員の山口照男さん(88歳・川湯温泉1)に、旭日単光章が授与されました。

伝達式は10月20日に行われ、山口さんに徳永町長から勲記と勲章が手渡されました。

山口さんは、1987(昭和62)年に町議会議員に初当選。2004(平成16)年まで、17年の長きにわたり町政に参画されました。その間、町議会副議長などの要職を担うなど、地方自治の発展と地域の活性化に貢献されたとして、この度の受章となったものです。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

11月7日

外国語指導助手のダニさんが異文化を語る てしかが国際交流会主催の講演会

思いを語るダニさん(中央)



てしかが国際交流会(池上清子会長)主催の講演会が11月7日、川湯ふるさと館で開催されました。

同会が2011年から行う国際交流イベント「もっと外国を知ろう」プログラムの一環で、今回で19回目。約30人が参加しました。今回は、町外国語指導助手(ALT)のフラド・ダニさんが、2年間の日本での生活で感じた異文化、特に日本人が日常使っている日本語化した英語(和製英語)に対する違和感について語りました。講演後の参加者の皆さんからの質疑も活発で、日本における英語や英語教育には多くの方が関心を持っているようでした。

11月4日

子どものうちから人権思想を身に付けて 弟子屈小学校で人権教室開催

みんなが一番欲しい自由は



釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が11月4日、弟子屈小学校(佐野哲哉校長)で開催されました。

講師に北海道子ども人権擁護委員の館岡穰さん、釧路市人権擁護委員の畠山典子さん、弟子屈町人権擁護委員の朝日英明さん、日下部真理子さんを迎え、5年生が受講。人間が持つ権利の中から「自由」を取り上げ、自分が一番大切な自由、グループで考えた一番大切な自由について話し合いました。最後に、講師がマジックを披露しながら、命を大切に、思いやりの気持ちと優しい心を持ってと強調。楽しみながら人権について学びました。

10月24日

楽しみながら防火意識を高める 多彩な催しっぱいの防火フェスティバル

訓練用消火器でのめがけて放水



第22回防火フェスティバル(同実行委員会・弟子屈消防署・弟子屈消防団主催)が10月24日、弟子屈消防署で行われました。

秋の火災予防運動の一環で、地域の方に対する同運動の周知と防災意識の高揚などを目的に2年ごとに開催されています。会場では応急手当体験や炊き出し訓練などが行われたほか、消火器体験、消防戦隊タスケルンジャーショーなど多彩な催しが用意され、親子連れや子どもたちでにぎわいました。

10月21日

免許を取ったら交通事故に注意 弟子屈高校で交通安全セミナー

動体視力を測定する生徒たち



弟子屈高校(木村浩士校長)で10月21日、3年生を対象に交通安全セミナーが行われました。

生徒の交通事故防止と、運転免許取得後の事故防止を目的に毎年行われています。講師は、愛国自動車学校(釧路市)の教習指導員の皆さん。生徒は3グループに分かれ、見通しの悪い交差点通過の危険性や、飲酒状態眼鏡着用による飲酒状態、動体視力測定を体験しました。また、交通規則違反や交通事故が人生設計に与える影響なども学び、交通安全への意識を新たにしていました。

11月10日

選挙の大切さを学ぶ 弟子屈高で北海道選挙管理委員会が出前講座

模擬投票で1票を投じる生徒



北海道選挙管理委員会による選挙啓発出前講座が11月10日、弟子屈高校(木村浩士校長)で行われました。

公職選挙法の改正により、選挙権が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。適用が見込まれる来年の参議院議員選挙を前に、選挙の大切さなどを学んでほしいと開催されたもの。2年生が受講しました。

生徒は、選挙制度の概要や投票の意義などについて説明を受けた後、仮想の選挙公報を見ながら支持する候補者や理由などについてグループごとに討議。その後、町選挙管理委員会職員立ち会いのもと、模擬投票も行いました。

11月9日

陶芸を通して思い出づくり 弟子屈中と川湯中の3年生が摩周焼を体験

森さん(奥)の指導を仰ぎながら



弟子屈中学校(杉山稔校長)と川湯中学校(武山昇校長)の3年生56人が11月9日、摩周焼体験学習を行いました。

総合的な学習の一環として毎年行われているもので、今年で15回目。郷土を代表する工芸の一つである摩周焼の制作を通して、思い出づくり、郷土を愛する心を育てることが目的です。摩周焼窯元の森雅子さん(奥春別)を講師に招き、森さんとお弟子さんたちの協力の下、多目的カップ作りに挑戦しました。作品は、12月中旬から公民館で展示される予定です。また、15回にわたりご協力いただいた森さんに感謝状が贈呈されました。

10月29・30日

かけがえのない命を大切に 弟子屈小・弟子屈中・弟子屈高で思春期保健講座

安藤さんの話に聴き入る



町主催の思春期保健講座が10月29・30の両日、弟子屈小学校と弟子屈中学校、弟子屈高校で開催されました。

妊娠の成り立ちや出産までを学ぶことで、命の大切さを再確認し、自己や周りの心身を大切に考えられるようになってほしいと毎年開催されているもの。弟子屈・川湯・奥春別・美留和・和琴各小学校の6年生、弟子屈・川湯両中学校3年生、弟子屈高校2年生が受講しました。講師は思春期保健相談士の安藤由美子さん。妊娠が成立し無事にこの世に生まれてくることは奇跡に近い確率で、全ての人が大切な命。多くの人に育ててもらった命を大切にしてほしいと話し、子どもたちは真剣に聴き入っていました。

10月26日

交通安全に気をつけて 交通安全協会が園児に夜光反射材を寄贈

おひさま保育園で園児に反射材を手渡す村岡会長(左)



弟子屈町交通安全協会(村岡幸雄会長)では10月26日、摩周丘幼稚園とおひさま保育園、川湯保育園、奥春別森の保育園の園児に、腕に巻く夜光反射材を贈りました。

子どもたちの交通安全のためにと毎年、啓発品を贈っています。同協会では、今後も続けていきたいとしています。